

金田地区(第2期) 都市再生整備計画事業
事後評価シート

平成31年3月

千葉県 木更津市

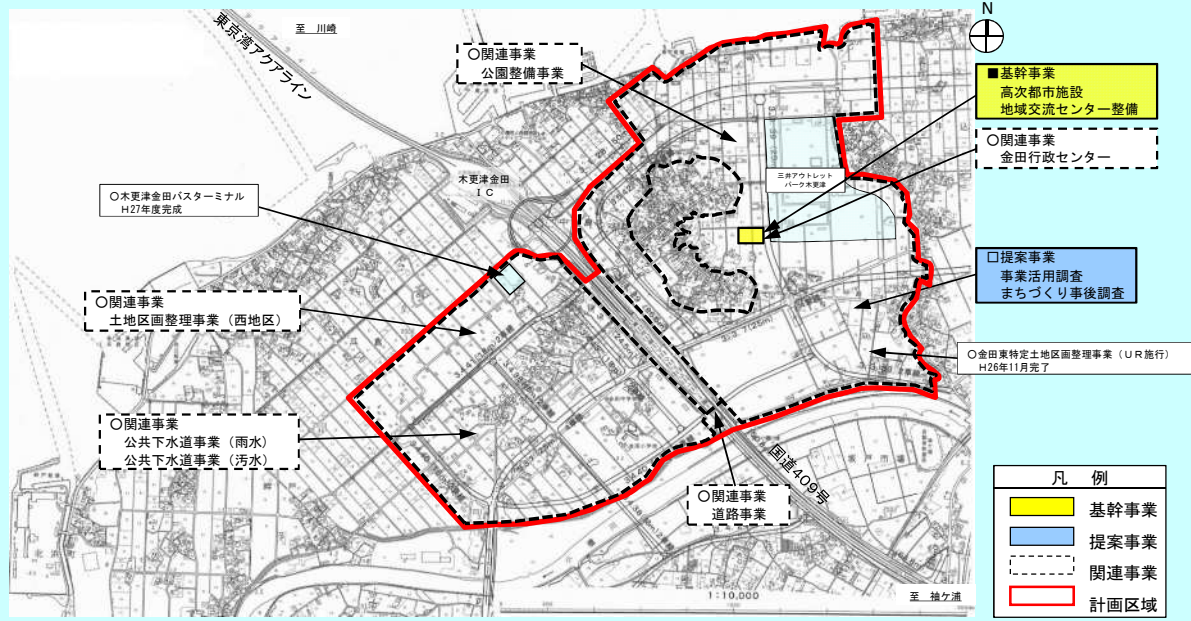
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	木更津市		地区名	金田地区(第2期)			面積	270ha			
交付期間	平成28年度～30年度		事後評価実施時期	H30		交付対象事業費	1080.1百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	高次都市施設:木更津市金田地域交流センター											
		提案事業	事業活用調査:まちづくり事後調査											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	-										
		提案事業	なし	-										
		基幹事業	なし	-										
		提案事業	なし	-										
交付期間の変更	当初	平成28年度～30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
	指標1	公民館等利用者数	千人/年	7.6	H26	8.2	H30		8.0	△	あり	○	従前値よりも利用者数は増加傾向となっているが、目標達成には至っていない。ただし、木更津市金田地域交流センターの供用により、従来の公民館と比べ施設規模が拡大し、多様な機能が利用可能となるため、利用者数が増加し、一定の効果が発現する見込みである。	2020年4月
											なし	-		
	指標2	活動サークル団体数	団体	20	H26	24	H30		21	×	あり	-	木更津市金田地域交流センターが未供用であること、土地区画整理事業等が事業中であり、地域住民のサークル活動が活発になるには依然時間を要することから、現時点では活動サークル団体数の増加にはつながらず、目標未達成となった。	2020年4月
											なし	○		
	指標3	定住人口	千人	2.4	H27	3.1	H30		3.5	○	あり	○	主に関連事業である土地区画整理事業、および道路・下水道・公園等の整備推進によって多機能複合のまちづくり、良好な住環境整備が進んだ。こうした取組の効果が定住人口の増加につながり、目標達成に貢献した。	2020年4月
											なし	-		
	3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
基準年度				目標年度	モニタリング	評価値								
その他の数値指標1	商業及び工業の土地利用面積	m ²	51.5万	H28				52.4万				本事業をはじめとする多機能複合的なまちづくりの結果、商業工業施設の立地が進んでいる。	-	
その他の数値指標2	交流人口	人/日	1,826	H28				2,073				本事業をはじめとする多機能複合的なまちづくりの結果、地区内の商業施設を利用したり、木更津金田バスターミナルを利用し都心へ通勤通学する地区内外の人口が増加した。	2020年4月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 金田地区まちづくり協議会では、地域住民の参加による地域づくりを進めていて、身近な地域課題として防災について取り組んだ。木更津市金田地域交流センターを避難場所として設定した避難訓練を実施し、地域住民への周知を進めた。 避難訓練及び木更津市金田地域交流センター整備説明会を実施した結果、地域住民の理解が深まった。 金田公民館では、金田まちづくり協議会により、コミュニティカフェが定期的に開催され、子育て中の女性などを中心に多くの参加者を得ている。 金田公民館は木更津市全16公民館のうち家庭教育への支援事業である家庭教育学級への登録者が最も多く、子育て世代、子供たちなどに活用されている。 													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた					-						
	住民参加プロセス	なし	平成29年2月に木更津市金田地域交流センターに関する住民への説明会を実施した。参加者は42名。第1期事業におけるアンケート調査や住民説明会では、防災面への配慮、施設設備に関する要望などが出され、同説明会において、要望のあったことについて設計面での工夫等の説明を行った。					都市再生整備計画に記載し、実施できた					● 特になし。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった														
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた					-							
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

金田地区(第2期)(千葉県木更津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:東京湾アクアライン効果を活かした職住近接の新たな玄関口のまちづくり 小目標①:人口増加に対応した施設整備による賑わいある交流拠点の形成 小目標②:土地区画整理事業による、商業・居住機能が調和した良好な住環境のまちづくり	公民館等利用者数	単位:千人/年	7.6 H26	8.2 H30	8.0 H30
	活動サークル団体数	単位:団体	20 H26	24 H30	21 H30
	定住人口	単位:千人	2.4 H27	3.1 H30	3.5 H30



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業にあわせて地区内に大型商業施設等が進出し、その他公園、下水道等の整備など、定住人口の増加に対応した施設の整備が進行している。 金田公民館から機能が引き継がれる木更津市金田地域交流センターは、駐車場が55台となり、多目的ホール、調理室をはじめ、屋外のイベントスペースも併設されるなど、従来の公民館より機能が充実し、まちづくりの進展、定住・交流人口の増加にあわせた施設として整備される。 土地区画整理事業の進展による地区内道路の整備により、ガードレールや街灯など交通安全性や防犯を考慮した施設の整備が進められている。また公園等、子どもたちが安全に遊べる施設が整備されている。 一方、定住人口の増加に対応する学校、生活利便施設の不足が依然課題である。また地域住民同士の交流を引き続き促進する必要がある。 多機能複合都市としての機能強化に向けた企業誘致、地域特性に応じた公共交通ネットワークの構築や高速バスネットワークの利便性向上なども引き続き対応が求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 多機能複合的なまちづくりを進め、定住人口、商工業の継続的な増加を図るため、土地区画整理事業を中心とした良好な住環境の整備や道路等基盤整備を進める。また、積極的な企業誘致を図る。 定住人口の増加に対応した学校の整備、生活利便施設の誘致等を検討し、必要な都市機能の集積を進める。 地域住民の交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図る。木更津市金田地域交流センターによる地域住民を対象とした企画、サークル団体活動の活性化を促す支援活動、地域交流事業等を進める。 移動ニーズを踏まえた路線バスの再編や木更津金田バスターミナルの機能強化(高速バスの乗り入れ路線の増加や乗換え可能路線の増加(ハブ化))等を推進する。